

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 332-04-03

事務事業名		陵南の森総合センター施設管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		陵南の森総合センター		連絡先		内線5500	
総合基本計画	施策目標	3	ともに支えあい 健やかに暮らせるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	高齢者福祉		款	3	民生費
	施策の方向	2	高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進		項	1	社会福祉費
					目	11	陵南の森総合センター運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童から高齢者までの幅広い年齢層の市民					
	目的 (どうしたいか)	老人福祉センター、公民館、図書館、運動広場からなる複合施設として、安全、快適に施設を利用できるようにすること及び災害時の福祉避難所としても適切に運営できるよう施設機能の維持向上を図る。					
	手段 (事業内容)	開館から35年以上経過し、施設建物及び設備の日常的な点検、維持修繕、長期的視点での改修工事等を通じて施設機能の維持向上を図るとともに、保守管理業務の委託、光熱水費等の効率的な管理を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	事業費	38,802	44,418	37,383
決算額	事業費	34,610	39,483	-
	特定 財源等	2,070	1,952	-

≪主な内訳(令和3年度決算)≫

【事業費】	
エアハンドリングユニット(空調機)購入	7,480千円
空調冷温水ポンプ冷却水ポンプ修繕	1,815千円
自動扉開閉装置修繕	330千円
足湯循環装置修繕	220千円
電気料金	5,921千円
ガス料金	4,746千円
シルバー人材センター委託料	10,454千円
【特定財源】	
使用料・雑入	1,952千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開館日数	単位	日	
指標の説明	1年間の施設全体としての開館日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		357	302	359
実績		315	302	-

≪事業の参考数値等≫

開館日数	
平成30年度	357日/年365日
令和元年度	356日/年366日
令和2年度	315日/年365日
令和3年度	302日/年365日
令和2年度は、高圧ケーブル等取替工事のための臨時休館を2日。コロナ休館が42日。	
令和3年度は、コロナ休館が57日。	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	日常的保守管理による施設性能維持効果日数	単位	日	
指標の説明	老朽化の進む施設、設備の計画的改修等により、故障等による臨時休館の回避につながっている。			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		357	302	359
実績		315	302	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
複合施設として幅広い年齢層の市民が日常的に多数利用することから、施設の設置意義は高いといえる。 *新型コロナウイルス感染拡大に伴い、臨時休館となっている期間があったため、会館日数の実績は、前年度と比べ減少となっている。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
施設・設備の老朽化が進んでいるため、計画的に改修を実施していく。